

製品区分： 10.繊維製品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-3881 2007/10/17 (事故発生地) 大阪府	エプロン 使用期間：不明	保育所で調理実習中に、男児のエプロンにカセットこんろの火が燃え移り、口から上半身にかけて火傷を負った。 (重傷)	カレーを調理中、被害者が過ぎてカセットこんろに近づいたため、エプロン（化学繊維製）にカセットこんろの火が燃え移り、火傷に至ったものと推定される。 (E2)	被害者及び監督者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	製品評価技術基盤機構 (受付:2007/10/23)
2006-4062 2007/03/26 (事故発生地) 長野県	スカート 使用期間：不明	自宅庭で、女性が芝生を野焼き中、下半身に重傷の火傷を負い、その後、死亡した。 (死亡)	野焼き中に女性が火を背にしていたため、火がスカートに燃え移ったものと推定される。 (E2)	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	製品評価技術基盤機構 (受付:2007/03/28)
2006-3661 2007/01/15 (事故発生地) 兵庫県	スノーボードジャケット (婦人用) XNB8120 (株)フェニックス 使用期間：不明	スノーボードジャケットの右袖上腕部の中綿部分に工業用ミシン針が混入していた。 (被害なし)	工場では縫製した製品を袋詰めした後に検針を行い、異常のない製品を箱詰めしているが、混入していた針は、中国製の工業用ミシン針であることから、検針から出荷までの製造工程で混入したものと推定されるが、どの段階で混入したのかは特定はできなかった。 (A2)	平成19年2月8日付け新聞及びホームページで社告を掲載し、商品を回収し、検査を行っている。	製造事業者 (受付:2007/03/05)
2007-3419 2007/08/25 (事故発生地) 不明	タオル ANAポケモントオルマスコット ピカチュウ 正和玩具(株) 使用期間：約15日	機内サービスで配布されたタオルの刺繍部分に、折れた針の先端部分が刺さっていた。 (被害なし)	製造工場のベルト式検針機を通過する前に未検針品が落下して既検針品に混入したか、あるいは工場内の未検針品と既検針品の仕切りが不十分で既検針品に未検針品が混入し、そのまま出荷されたものと推定される。 (A2)	平成19年9月6日付のホームページに社告を掲載し、製品の配布を中止し、無償で回収・交換を行っている。 なお、今後の製品の製造時には、落下防止のために検針機と壁面の隙間をなくし、また、未検針品と既検針品が混入しにくい配置を指示することとした。	輸入事業者 (受付:2007/09/14)

製品区分： 10.繊維製品

管理番号 事故発生日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
2007-4910 2007/12/05 (事故発生地) 兵庫県	パジャマ 3 1 - 1 6 4 5 (株)ピーチ・ジョン 使用期間：約3回	パジャマを着用してガスこんろで調理中に、焦げ臭さと熱気を感じてパジャマを脱いだところ、袖から身頃前上部半分が変色し、髪の毛の先端が焦げていた。	当該製品は綿ネル製で、未洗濯の場合は表面フラッシュが生じやすいことから、パジャマにガスこんろの火が触れ表面フラッシュ現象が発生し、パジャマと髪を焦がしたものと推定される。 なお、製品には縫いつけ及び下げ札で表面フラッシュに関する注意表示はあったが、文字が小さいなど気付にくいものであった。	他に同種事故は発生していないが、在庫品についてはアテンションマーク付注意表示の貼付を行い、既販品については顧客へDMを発送し、さらにホームページで注意喚起することとした。 また、今後の商品については、下げ札の文字ポイントを5割大きくするとともに、2色刷のアテンションマークを付記し、カタログでも注意喚起することとした。	輸入事業者 (受付:2007/12/14)
2007-3237 2007/06/00 (事故発生地) 東京都	ワイシャツ(紳士用) 使用期間：1回	新品の綿のシャツを着用したところ、湿疹が出た。	事故品は綿100%の白無地のブロード生地、モノフィラメント糸の使用等もなく、物理的な刺激は認められなかった。ホルムアルデヒドも検出されず、pH値も中性で異常要因は見られなかった。事故品及び未使用の同等品について、健常者による着用試験を行った結果、湿疹・炎症は認められず、原因の特定はできなかった。	事故原因が不明であるため、措置はとれなかった。	製造事業者 (受付:2007/09/04)
2007-4611 2007/11/23 (事故発生地) 茨城県	衣服 使用期間：不明	ごみ焼却中の火が衣服に燃え移り、男性が死亡した。	被害者がネル製のパジャマを着て焼却場で紙を燃やしていた際に、火がパジャマに燃え移り焼死したものと推定される。	被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。	製品評価技術基盤機構 (受付:2007/11/28)
2006-3014 2007/01/17 (事故発生地) 石川県	寝具(マットレス及びカバー) 使用期間：約2日2回	購入した寝具(マットレス及びカバー)を使用したところ、10分もたたないうちに全身にかゆみと湿疹が現れた。2日目には同じ症状に加え、咳き込みがひどくなった。	外カバーに使用している染料C.I. Reactive Blue 19と、マットレス及び外カバーから放散が確認されたBHT(酸化防止剤)には、皮膚への刺激性・感作性を報告した文献があることから、そのいずれか又は両方が原因物質と推定されるが、被害者の協力が得られないためパッチテストが実施できず、原因物質の特定はできなかった。	取扱説明書にアレルギー発症に関する注意事項を追加した。また、使用する染料の変更を検討することとした。	消費者 (受付:2007/01/25)